

第68回 大分県高等学校総合体育大会  
25 ヨット競技 実施要項

1 主催 大分県高等学校体育連盟

2 期 日 令和2 年 7 月 18 日 ( 土 ) ～ 7 月 19 日 ( 日 )  
※荒天時順延無し

7/18 (土)	08:30	～	受付・計測
	09:00	～	開始式 <b>※専門部長挨拶のみ</b>
	09:05	～	競技運営説明
	10:00	～	最初のレースのスタート予告信号予定時刻(男子420級) <b>※シングルハンダー級は5分以降</b> <b>2をレース予定</b>
	13:00	～	最初のレースのスタート予告信号予定時刻(女子420級) <b>※シングルハンダー級は5分以降</b> <b>3をレース予定</b>
7/19 (日)	09:00	～	最初のレースのスタート予告信号予定時刻(女子420級) <b>※シングルハンダー級は5分以降</b> <b>2をレース予定</b>
	13:00	～	最初のレースのスタート予告信号予定時刻(男子420級) <b>※シングルハンダー級は5分以降</b> <b>3をレース予定</b>

- (1) 天候その他の事情により、時刻を変更することがある。  
(2) 原則的にスタートは420級、シングルハンダー級の順で行い、スタート予告信号は前種目のスタート時刻の5分以降に発せられる。ただしレース運営上、レース委員会はスタート順を変更することがある。

3 場 所 臼杵湾 大分県立海洋科学等学校 艇庫

- 4 競技規則
- (1) 本大会には、「国際セーリング競技規則」(以下「RRS」という)に定義された「規則」を適用する。
  - (2) RRS付則T(調停)が適用される。規則T1に基づき「レース後ペナルティ」を履行した艇は、「PRP」の得点記録の略語を用いて記録される。これは規則A11を変更している。
  - (3) 艇は自らの安全のために、マストトップに浮力体を付ける事が出来る。これは国際420級クラス規則C5を変更し、国際レーザークラス規則25を適用する。

- 5 競技種目
- (1) 420級 男子・女子
  - (2) シングルハンダー級 男子・女子 **※シングルハンダー級においてはラジアルクラスまたはスモールクラスに限る**
  - (3) 学校対抗 男子総合 (420級+シングルハンダー級合計点で競う)  
女子総合 (420級+シングルハンダー級合計点で競う)

- 6 競技方法
- (1) レースは男女・種目別(シングルハンダー級は男女同時スタート)に各5レースを行う予定である。また、学校対抗が成立するためには、420級とシングルハンダー級がそれぞれ1レース以上完了しなければならない。
  - (2) 順位は各種目別に決定する。シングルハンダー級の男子女子の順位については、同時スタートであるが、先頭艇フィニッシュ時刻、フィニッシュ、フィニッシュ順位、レース終了時刻も全て男女別に記録される。
  - (3) 420級は1艇4名以内、シングルハンダー級は1艇1名以内の選手登録で1チームを構成する。420級においてチーム内でのスキッパー、クルーの分担は任意である。なお、選手登録の変更は原則として認めない。
  - (4) 得点は成立したレースが4回以下の場合、全てのレースにおける艇の合計得点とする。5レース完了した場合は、その艇の最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。
  - (5) RRS42違反に対し、付則Pを適用する。
  - (6) 学校対抗は、種目にエントリーした全ての学校を対象とする。
  - (7) 学校対抗は、各種目で2艇以上参加している学校の場合は、最上位艇の得点の合計で競う。得点の少ない学校を上位とする。ただし、全ての種目にエントリーしない場合は、エントリーしていないその種目にDNCの得点を与え、その種目に参加したものとみなし、合計得点を算出する。
  - (8) 使用する艇は自艇あるいは各学校の責任においてチャーターした艇とする。
  - (9) 使用するセール番号は参加申込時に登録し、それ以降の変更は認めない。同一セール番号を複数の艇に使用することはできない。
  - (10) 帆走指示書は事前に参加申込書に記載されたアドレスへ送信する。

- 7 参加資格
- (1) 「第68回大分県高等学校総合体育大会実施要項」の参加資格に準ずる。
  - (2) 2020年度日本セーリング連盟メンバー登録を終えた者。

- 8 参加制限
- (1) 1校あたりのエントリー艇数は制限しない。
  - (2) 艇ごとに選手登録を行い、複数の艇に同一選手の登録はできない。
  - (3) 引率・監督が付き添わないチームは出場を認めない。ただし男女を兼ねても良い。

9 参加申込

(1) 申込み方法

ア. (No25-1)/(No25-2)/(No25-3)様式をダウンロードして、男女を別紙で作成する。  
各2部印刷・捺印して、学校一括申込みとする。

**\*大会参加に際しては、本人及び保護者の参加同意書を提出すること。**

イ. 承認を得たア.の申込電子データは、下記宛にメールでも送信する。

(ファイル名：競技名/校名/監督名 ※例 ヨット女子翔青大分太郎 )

satou-makoto@oen.ed.jp

(メール締切：6月26日(金)正午必着)

大分県立海洋科学高等学校内

専門委員長

佐藤

誠

10 組合抽選

無し

11 連絡事項

(1) 競技中の疾病傷害などの応急処置は主催者側で行うが、その後の責任は負わない。

(2) 個人用浮具(ライフジャケット)は、ISO12402-5、レベル50(浮力50N)または同等の基準に従うものとする。詳細は日本セーリング連盟HP(事務局)に掲載。また陸上でY旗が掲揚された場合、出艇中は常時RRS40が適用される。

(3) 参加者は、「健康保険証」持参すること。

(4) 会場内(競技中以外)はマスクを着用し、手洗い消毒に心掛けること。

(4) 学校対抗戦の優勝旗授与は省略する。

(5) 別紙コロナウイルス感染防止に関する連絡事項を事前に確認し、持参要請のあるものは各自・各校で準備すること。

(6) 問い合わせ先 大分県立海洋科学高等学校内 佐藤 誠

TEL 0972-63-3678 FAX 0972-63-3679

12 感染症等の対策

(1) **感染症等の対策については、別紙に掲げる留意事項を遵守すること。**

(2) **競技中の傷病など緊急時の対応については、救急体制に従って行動すること。**

## 感染症等の対策に関する留意事項について

ヨット競技専門部

## 1 全競技共通事項

- (1) 生徒の参加については、参加同意書を提出すること。
- (2) 気温が高い中での大会であること及び運動不足が考えられるため、突発的な傷病等に十分留意すること。熱中症予防のため、こまめな水分補給をすること。
- (3) 生徒に発熱など風邪の症状が見られる時は参加を見合わせ、自宅で休養させること。
- (4) 会場内に入る生徒（競技中以外）・競技役員・補助員・引率者・観客等は、必ずマスクを装着すること。ただし、熱中症予防の観点で、屋外で人と十分な距離（2m以上）を確保できる場合はマスクを外すこと。また、屋内でも息苦しさを感じた時は、換気や人と十分な距離を保つなどの配慮をした上でマスクを外すこと。
- (5) 会場の各所に液体石鹸や手指消毒用液を備えているので、こまめな手洗いや消毒をすること。
- (6) 同チーム内での飲料水等の回し飲みやタオルやコップ等の共用はしないこと。
- (7) 競技に使用する共用の用具（ボール等）については、専門部で消毒を行うが、チーム内の用具は各指導者が責任をもって消毒すること。
- (8) 競技会場内では、競技専門部（係員）の指示や誘導に従うこと。
- (9) 競技会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、競技専門部及び県高体連事務局に対して速やかに報告すること。

## 2 ヨット競技における3密（密閉、密接、密集）の回避対策

## 【大会本部】

- ・主催者で消毒液を用意し、会場内に設置する。（別紙会場レイアウト）
- ・会場内のトイレに液体せっけんと消毒液を設置する。
- ・会場内で人との接触を減らすために、選手、役員、観客等の導線を区分する。
- ・更衣室等は、こまめに換気を行う。
- ・更衣室や控室等は、利用時間や利用人数を制限する。
- ・競技中、味方同士でのハイタッチなどは禁止する。

## 【選手・役員・保護者等】

## 《密閉》

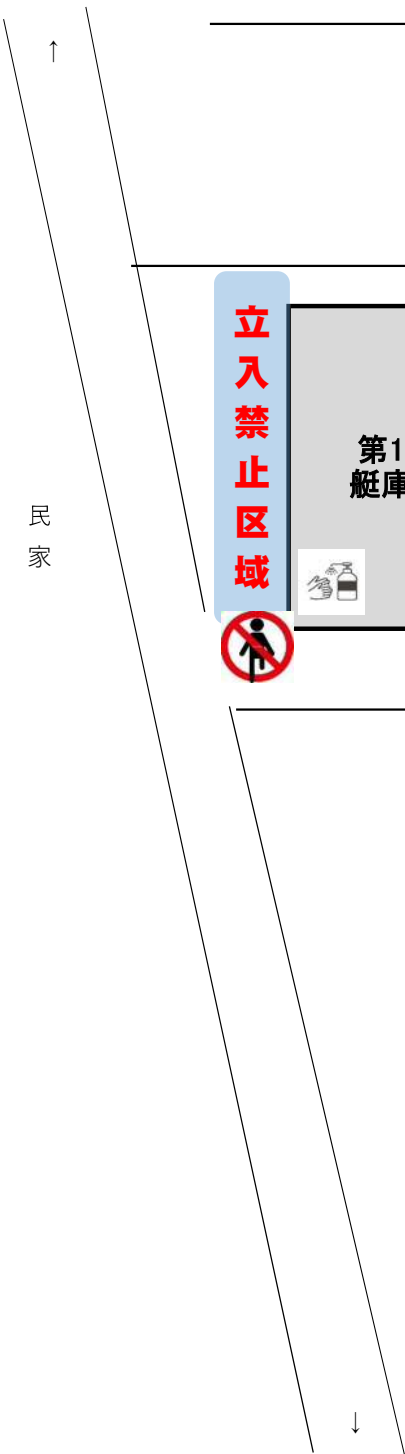
- ・更衣室等は、こまめな換気を行うので協力すること。
- ・更衣室や控室等は、利用時間や利用人数を制限する場合もあるので注意すること。

## 《密接》

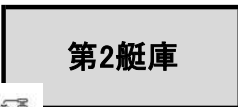
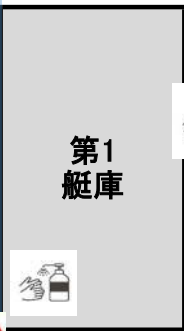
- ・近距離での会話や発声が必要な場合は飛沫を飛ばさないようマスクを装着すること。
- ・マスクを外さなければならない場合は、人との距離をできるだけ2m保つこと。
- ・競技中の味方同士でのハイタッチなどは避けること。

# ヨット会場レイアウト

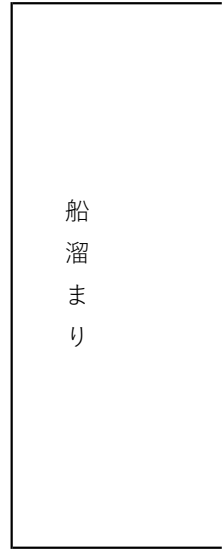
大浜地区方面



**立入禁止区域**



**大会関係者以外  
立入禁止  
区域**

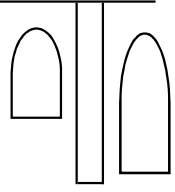


**大会関係者以外  
立入禁止区域**

入渠場



斜路



実習船係留場所

津留港

大浜地区方面